



梅の妖精

2010.03.02

梅の妖精は、恥ずかしがりやさん。

みんなが集まってくるのが 恥ずかしいから、
まだ寒いうちに、花を咲かせてしまいます。

小さなほっぺを 真っ赤にして。

ミニスカートをはいた 小さな妖精が、
くるくると 踊りながら、梅の花に キッスすると。

ほらほら、
梅の花が、咲きだすよ。

甘い香りに、梅の木を見上げれば、
真っ赤なほっぺの女の子が 逃げていくのが、見えるでしょ？

早く。
早く。

桜が咲く前に。

早く。
早く。

みんなが 冬眠から 覚める前に。

早く。
早く。

と つぶやきながら
花を咲かせて 飛び歩く 妖精の後ろでは……

梅の花を 見上げた ひとびとが、
なぜか ゆったりとした気持ちになって。

ほんの少しの間だけ、自分に戻っているよ。

そして、はっと 我にかえると。

いつもより、少しだけ 歩調をゆるめ、
また 自分を 奥深くに 閉じ込めて、歩き出すよ。